

ほやほや

Fukui Red Cross Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.020



本館4～8階、3病棟の3～5階は、入院される患者様のための病棟です。各階病棟では、7人の患者様に1人の看護師が対応できる体制を整えるための準備をしています。

看護にあたり、私達看護部スタッフが常に考えているのは、「患者様の人権を尊重すること」「安心・安楽・安全な治療と入院生活を心がけること」。そのための努力はもちろん、スタッフ間の話し合いは絶密に行います。特に、ステーション内スタッフ全員が患者様の症状を共有するため、医師を含めた患者カンファレンスは毎日、丁寧に行っています。

現在、認定看護師も6名となりました。患者様の一日も早い回復と退院のため、そして地域連携の病院として、全看護スタッフは常に自己研鑽をして、その方にとって最善の看護を提供できるよう心がけています。

本館4～8階、3病棟の3～5階は、入院される患者様のための病棟です。各階病棟では、7人の患者様に1人の看護師が対応できる体制を整えるための準備をしています。

看護にあたり、私達看護部スタッフが常に考えているのは、「患者様の人権を尊重すること」「安心・安楽・安全な治療と入院生活を心がけること」。そのための努力はもちろん、スタッフ間の話し合いは絶密に行います。特に、ステーション内スタッフ全員が患者様の症状を共有するため、医師を含めた患者カンファレンスは毎日、丁寧に行っています。

現在、認定看護師も6名となりました。患者様の一日も早い回復と退院のため、そして地域連携の病院として、全看護スタッフは常に自己研鑽をして、その方にとって最善の看護を提

病棟

福井赤十字病院

理念

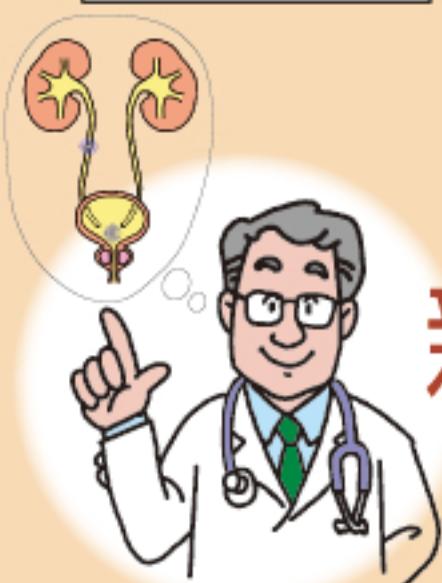
人道・博愛の精神のもとに、
県民の求める優れた医療を提供します。

基本方針

- 患者様の権利と意思を尊重し、相互理解に基づく医療を行います。
- 患者様に優しい医療を提供します。
- 医療の安全と質の向上に努めます。
- 地域の保健・福祉・医療機関と連携を進めます。
- 救急医療を充実させ、地域の急性期医療を行います。
- 災害時に積極的な医療救援や救援活動を行います。

特 集

泌尿器科



前立腺癌の 新しい治療について

近年、急増している前立腺癌。
最新の治療法をお話します。

(选深基料／小松和人、河野良輔、高原典子、深原健治)
(被制標科／野口正人、小倉昌和)



われます。一方前立腺癌は最近急速に増加しており、骨転移で苦しむ方がおられるのも事実です。同じ癌でも随分と異なりますが、私たち泌尿器科医師は個々の患者様に合った治療を行つよう努めています。たとえば60歳という年齢で健診診断で見つかった前立腺癌の場合、

当院での放射線療法は体の外から放射線を当てる「外照射」を行ってきました。通院は必ずしも必要なく、副作用は軽度ですが治療効果は手術とほぼ同等かよりやや劣ると考えられています。外照射に加えて2003年に日本でも始

そのほか根本的(根治的)とはいえないが、内分沁療法という選択肢もあります。どれもこれも100点満点の治療法とは言えないものの、効果と副作用を考え合わせれば治療を受けるメリットは充分だと思います。

科医師、放射線技師、看護師など多くの職種が大きなチームを作っています。

この治療について興味のある方、詳しく説明をお受けになりたい方は泌尿器科外来まで遠慮なくお尋ねください。

は外科手術と放射線療法であり、そのほか根本的(根治的)とはいえないが内分泌療法という選択肢もあります。どれもこれも100点満点の治療法とは言えないものの、効果と副作用を考え合わせれば治療を受けるメリットは充分とていてますか?治療効果は手術とは同等といわれています。早期で悪性度の低い前立腺癌に特に効果が高いと期待されています。

た。前立腺癌の特徴と、当院で始め
る新しい治療についてお話ししま
せん。

当院では毎年數十例の前立腺癌が発見されます。特に最近は前立腺特異抗原(PSA)検査の普及に伴つて数が増えてきまし

新治療に向け、チームを結成し準備中です。

早期であることがほとんどです。一般に60歳の日本人男性では平均余命は20年以上あります。いくら進行の遅い癌であつても20年間にわたりて進行しないことは考えにくく、できるだけ根本的(根治的)な治療をお薦めしています。選択肢は外科手術と放射線療法であり、そのほか根本的(根治的)とはいえないが内分泌療法という選択肢もあります。どれもこれも100%確実な治療法ではありませんが、組織内照射といわれる方法です。小さな放射線を出る金属の粒を前立腺の中に埋め込んでくる方法で、3泊4日の入院で治療が完了し、副作用も軽度といふ利点があります。米国ではすでに10年以上前から治療が開始されていますが、治療効果は手術とほぼ同等といわれています。早期で悪性度の低い前立腺癌に特に効果が高いと期待されています。

ます転移がないかどうか、癌の悪性度がどれほどのものかを調べます。最近健康診断で見つかるようになります。

A portrait of Dr. Kuniaki Matsubara, a middle-aged man with short, dark hair and glasses. He is wearing a white lab coat over a light-colored shirt and a blue stethoscope around his neck. A name tag is visible on his coat. He is looking slightly to the left of the camera.

易经解卦手册 小指 和人

患者様にお盆イベントで楽しむひと時を。

去る8月14日、お盆イベントが開かれました。お盆期間中も治療に励んでおられる患者様や患者様を支える家族の方に、少しでも楽しいひと時を企画。今年で2回目です。

地域民謡クラブの民謡踊りや当院看護師の剣舞、自回し協会福井県支部の自回しが披

露されました。中でも一度に5枚の皿を回す大技には大きな拍手と歓声が上がりました。イベントに参加された方はおよそ70名。「自宅に帰れないのは残念ですが、どの演目も楽しくて、心がホッと和みましたよ」など、うれしい感想をいただきました。



自衛消防隊消防法協議会で優勝しました。

第49回自衛消防隊消防法競技大会が、9月29日に福井県消防学校グラウンドで開かれました。出場チームは、管内の自治会及び事業体の自衛消防隊など200以上。小型ポンプや屋外消火栓、危険物消火、バケツ消火の各部で競技が行われました。



仕事の調整を図りつつ練習に取り組んだ甲斐あり、見事、女子チーム優勝、男子チーム準優勝という当院初の快挙を成し遂げました。

キッズルーム内は優しいピングクなどのカラーを使用し、子供たちが楽しく過ごせるよう様々な工夫がなされています。

共働き率が全国でも高い福井県。そこで当院では結婚し出産しても、安心して働ける環境を提供しようと、元の看護学校の建物に院内保育施設を新設。9月28日にオープニングセレモニーが行われました。

福井赤十字病院院内保育施設「にこにこキッズルーム」は、当院勤務職員を対象に、就学前のお子様（生後57日～小学校就学前）をお預かりし、年齢や発育に応じた様々なカリキュラムで運営していく予定です。



新しい院内保育施設、「にこにこキッズルーム」ができました。

長のとこ
院ひ



Q お聞きします

土曜や日曜の来院で、しかも初めての場合は、入口が分からず迷う人が多いようです。そのような人に対し、正面玄関周辺に分かりやすい赤い矢印の看板を立ててはどうでしょうか。

A お答えします
当院の休日・夜間入口は、建物の奥まつたところに位置しています。

ですから」指摘の通り、初めて来られた方には少々分かり難いかも知れません。
もちろんこれまでも、休日・夜間入口への案内表示の看板は設置しております。今回のご意見をつけさせて、休日・夜間入口の案内表示を、駐車場から病院に向かう柱にも設置するようにいたしました。これまでよりも分かりやすくなつたと 思います。

Topics

被剖検者追悼式を開催。

今年も8月7日(火)に、平成18年7月から1カ年間に解剖に寄与されました16柱の御靈に対し、ご遺族様の出席のもと、平成19年度被剖検者追悼式が当院栄養管理棟3講堂で執り行われました。

初めに歓迎の儀を行い、続いて出席者全員により黙祷を捧げました。野口院長から追悼の言葉があり、「詩季の会」の方によるハープとフルート演奏の「歓迎の儀」が行われました。院長の歓花に続いて、参列いただいたご遺族様、病理医、被剖検者主治医、出席職員と全員が歓花を行いました。

ご遺族様代表よりお言葉をいただき、改めてご厚志に対する感謝の念を新たにし長谷副院長の閉会挨拶で追悼式は無事終了いたしました。ご協力いただきましたご遺族様に深く感謝いたします。



市民公開講座を開催。

今年度2回目となる福井赤十字病院市民公開講座が、9月8日(土)に開催されました。

今回のテーマは「大腸がんの治療の現状」。講師の青竹利治外科副部長からは、写真やイラストなどを用いて大腸がんの診断や予防、そして患者様の体に負担の少ない内視鏡手術に関する詳しい解説が行われました。182名の参加者は熱心に耳を傾けていました。



栄養課
おすすめ!

冬のレシピ (秋刀魚の山椒煮)

①さんまは頭を落として切り口からハラワタを抜き、腹の中をきれいに洗い、水気をふいて3~4つに筒切りにする。②しょうがは千切りにする。③鍋に調味料と水、しょうがを入れ、火にかける。煮立ったらさんまを入れ、落とし蓋をして、煮汁をときどきかけながら煮込む。④煮汁が少なくなり、味が染みてたら粉さんしようとふりかける。⑤水溶き片栗粉を加えて煮汁にとろみを付ける。



さんまはビタミンB12やビタミンA、良質のたんぱく質等が豊富。不飽和脂肪酸も多く、生活習慣病を予防する働きがあるようです。

材料(1人分)／
さんま1尾(100g)、しょ
うが5g、粉さんしようと
さじ1/4、砂糖大さじ1/
2、醤油大さじ1/2、酒大
さじ1、水、片栗粉 適量

オープンホスピタルが開催されました。

看護師募集活動3年目を迎え、今年度はオープンホスピタルを始めました。看護学生が臨床の看護師と共に実際の現場を経験することで、就職に対する不安や心配事を少しでも解消し、就職へ繋げるお手伝いです。コースは3コース、1日病棈体験11名・病棈夜勤体験2名・赤十字体験1名が参加し、病院見学や説明会では分らなかった病院や病棈の雰囲気、内部のシステム、看護師の動きや役割が分り、良い体験ができたと好評でした。



「若年運転者安全運転協議会」が、9/25北陸自動車学校において開催されました。当協議会は若者の交通事故防止のための一環として平成15年から実施されているもので、当院から男子事務職員2名が参加し、1名が見事第一位を獲得しました。

福井赤十字病院

〒918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代)
FAX.0776-36-4133
E-mail
webmaster@fukui-med.jrc.or.jp
<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

ほやはや

"ほやはや"と納得できる情報、できたて"ほやはや"の情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。